

エパタ 第111号

Ephphatha! 開け!

発行/日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団
ろう者伝道部

〒170-0003 東京都豊島区駒込3-15-20
TEL 03-3918-5935

発行者 郡美矢
編集者 五島靖子・加藤雅美
タイトルバック写真 山中和明

日々聖靈の力を求めよう

ジョン・グラハム師（カナダ）

世界ろうアッセンブリー大会理事

聖書には三つのバプテスマについて記されています。

①水のバプテスマ

これは古い自分を捨てて、新しい自分に生まれ変わるという象徴です。洗礼を受けるとき、水に浸されます。それは、罪をもつている人間が、死んで葬られ、そして、新しくよみがえるという意味があります。水のバプテスマを受けたから、救われたというではありません。水のバプテスマはあくまでも象徴であり、イエス・キリストへの信仰をはつきりと、表明することです。

②聖靈のバプテスマ

イエス・キリストが十字架にかかるた時に、神殿の垂れ幕が裂けました、これは、聖靈が信じる誰にでも、与えられるようになったことを意味します。聖靈のバプテスマを受けると、様々な賜物（異言、預言、癒しなど）が与えられます。その賜物を用いて、それぞれが教会で奉仕するように、主は導かれます。



「私は、あなたがたが悔い改めるために、水のバプテスマをお授けになります。」（マタイ3章11節）銀や金は、炉の中で火によつて不純物が取り除かれて聖められます。

同様に、信仰者も苦難や試練の中で、信仰が磨かれ、鍛えられます。

以前、教会の働きに集中しすぎて、家庭をないがしろにしていた時がありました。教会と家庭の葛藤の中で、悔い改めの迫りがあり、祈つていると、幻が見えました。炎のリングが上から降りてきて、私を包みました。私は熱くなつて、自分が燃やされているという感覚になりました。内側の汚れや、不要なものが燃やされて、新しい力が与えられました。今も、神様は働いておられます。聖靈の導きを求めるでしょう。聖靈が働いてくださるように期待しましょう。毎日、聖靈に満たされて新しい力が与えられるように祈り続けましょう。

妻のステphanieは、バプテスト教会の牧師の娘として育ち、聖靈の働きに懐疑的でした。しかし、ペニテコステ派の人々との交流を通して、自分が持つていない何かを、彼らが持つている事に気づき、探し求めるようになりました。

「その後、わたしは、わたしの靈をすべての人にとって見、若い男は幻を見る。その日、わたしは、しかもべにも、はしためにも、わたしの靈を注ぐ。」（ヨエル2章28-29節）の御言葉が示され、注ぐ。

もつと神様を知りたい、聖靈を受けたいと願い、一人で納屋で祈つて贊美していました。ある時、誰かに名前を呼ばれました。補聴器を外していたので聞こえないはずなのに、「ステphanie」と名前を呼ばれたのです。驚いて振り返つても誰もいません。その時、神様の声だと気づきました。「ここに居ます」と祈ると、聖靈のバプテスマが与えられ喜びに満ちあふれる経験をしました。

③火のバプテスマ

「私は、あなたがたが悔い改めるために、水のバプテスマをお授けになります。」（マタイ3章11節）銀や金は、炉の中で火によつて不純物が取り除かれて聖められます。

スーザン・グラハム師

私は以前、気の短い性格でした。何とかこの性格を変えたい

と思いまし
た。神様に求
めて祈つた
り、たくさん
で覚え、悔い
改めて祈りま

した。頑張つて変えたい、と思
つていましたが、どうしても、
氣の短さは変わらない。私は聖
靈を受けて異言で語るようにな
つてからも、やっぱり氣が短い
のは変わりませんでした。

ついに、夫（ジョン）に、
「私の気が短いのは変わらない
ので、受け入れて我慢して
ね。」と言つてしましました。
しかし、ジョンは言いました。
「いえ、あなたの気が短いのは
受け入れられない。」

ある日、教会で特別な祈りの
集会がありました。講師が「私
たちの人生はいろいろあるけ
ども、自分で何とかしようとせ
ずに、神様に降参しますと白旗



を振つてください。」とメツセ
ージされました。それで私は、
神様に白旗を振ることにしよう
と思いました。

集会が終わつて帰るとき、ど
うしたことか、足が動きません
でした。何かくついたように
動けなかつたのです。講師から、
「私の手話の通りに祈つてくだ
さい。」と言われました。私は、
その祈りをまねて、手話で祈ろ
うとするのですが、それができ
ないのです。同じ手話を真似る
ことができないのです。

それは「私は夫を赦します」

というお祈りなのですが、赦す
という手話がなかなかできませ
んでした。ただ真似するだけな
のに、「赦す」という告白が苦
しくて、時間がかかりました。
後ろから祈りを助けてもらい、
神様に降参して、ようやく祈る
ことができました。

「夫を赦します」といったとた
んに、心身ともに解放されまし
た。一時間もかかりました。
それ以後、心が平安になり、
短気な性格が変えられました。
それまで、私は本当に気が短く

て、いつも怒られていました。
しかし全く変えられたのです。
神様に感謝いたします。
(ろう者聖会トークショーより)



ろう者聖会 「うさぎとかめ」の劇



トークショー

ろう伝道師による賛美

聖会中の様子

ろう者全国聖会

報告



八月十一日（月）～十三日（水）まで、広島の三滝グリーンチャペルで全国ろう者聖会が開催されました。二十五教会より百三十人の参加がありました。

聖会の特別講師は、カナダから世界ろうアッセンブリー大会理事のジョン・グラハム師で、スザン・グラハム夫人も証をしてくださいました。聖霊様に燃やされた熱いメッセージで、大いにチャレンジを受けました。

百三十人の参加がありました。聖霊様に与えられた神の賜物を、再び燃え立たせることの大切さを説かれました。

そのためには、三つのポイントを挙げられました。
①救われた時のことを思い出す。
②悔い改める。
③主の愛に触れられるまで祈り続ける。

また、参加者を年代別に分けるデモンストレーションが行われました。そして、18才から29才の若い世代の参加者がいないという現実が、視覚的にはつきり示されました。若い世代への伝道の重要性が、参加者にしつかり刻み込まれました。若者にきちんと伝道するためにも、さらに多くの方が神学校で学ぶことが望れます。しかし、現在、ろう者の神学生がいないという状況です。グラハム師はご自分

二日目には、ジョン・グラハム師は、「パッショーン（情熱）」をテーマにメッセージを語つて下さいました。情熱を持つて神に仕えることの重要性、特に、第二テモテ一章六節から「私の握手をもつてあなたのにうちに与えられた神の賜物を、再び燃え立たせ」ることの大切さを説かれました。

そのためには、三つのポイントを挙げられました。
①救われた時のことを思い出す。
②悔い改める。
③主の愛に触れられるまで祈り続ける。

も若い時は知識がなく聖書の意味が分からなかつたが、燃やされて学びたいという気持ちを神様が導いてくださつたと証しされました。年齢に関係なく、情熱さえあれば神様に用いられると励まし、神様に仕えたいと思う人は、前に出るよう促されました。多くの人が前に出て、共に祈りの時間を持つことができて、感謝でした。
ぜひ、新しく神学生がおこされようにお祈りください！



**ろう者聖会の奉仕を通して
三滝グリーンチャペル**

片上 伸吾

ハレルヤ！ 主のみ名をほめたたえます。

八月十一日から十三日まで、広

島・三滝グリーンチャペルにて、全国ろう者聖会が行われました。全国から参加者が集まり、主から豊かな恵みの雨を注がれる時となりましたこと、心から感謝いたしました。

最後に、今年の大会の運営を担当つてくださつた三滝グリーンチャペルの皆さまに、心より感謝申し上げます。ご奉仕、本当に疲れさまでした。

今回の大会テーマは「聖靈充满1千満ボルト」でした。三滝グリーンチャペルの郡美矢師が、御言葉をわかりやすく語つてくださり、ろう者にとても理解しやすく、大きな励ましとなりました。

また、カナダからお招きしたジョン・グラハム師が、力強いメッセージを三回にわたり語つてくださいました。郡師が国際手話通訳を担当され、カナダと日本との文化や手話の違いも学ぶことができ、非常に興味深く、恵まれました。

参加者の中には、喜びのうちに聖霊のバプテスマを受けられた方もおられ、大会全体を通して主の働きを強く感じることができました。

来年のろう者聖会は東京で開催予定です。再び皆さんとお会いできることを楽しみにしていきます。

「愛する者たちよ。わたしたちは互に愛し合おうではないか。愛は、神から出たものなのである。すべて愛する者は、神から生れた者であつて、神を知つている。」
——ヨハネ四章七節

「手話カフェシャローム」が更に用いられ、来られた方々がキリストの愛に触れ、救われる人がおこされるようお祈りください。

（です。）

「手話カフェシャローム」が更に用いられ、来られた方々がキリストの愛に触れ、救われる人がおこされるようお祈りください。

私たちの教会で「手話カフェシャローム」を始めて2年目になりました。牧師夫妻や教会の姉妹の交わりの中で、手話カフェの話があり、決心しました。初めてスタートした時はドキドキしましたが、主に祈りながら準備がいろいろと進みました。

手話に趣味のある求道者の方と交流できるように、手話を覚えてもらつて、多くの人とつながることは嬉しいです。今いろいろな方が来店してくれています。人工内耳の方、車椅子の方、視覚障害の方、若い子やクラリネット奏者などです。

**手話カフェシャローム
徳島神召キリスト教会
吉岡久美**

ハレルヤ！ハレルヤ！！
主に贊美をささげます。



AG アッセンブリー教団創立80周年へ向けて ろう者伝道部計画

各教区のろう者伝道を推進する
青年ろう者伝道への取り組み
ろう者宣教の活性化

聖靈による、 ろう者宣教、 さらなる拡大

2人で1人を導こう！
2人ならできる！

2029年 400名のろう者会員を目指して
全教区へ・32教会へ・50教会へ・265名→400名へ

全国ろう者聖会の継続的実施 世界のろう者 AGに学ぶ
ろう者伝道連絡委員会の継続的実施 手話通訳者養成
ろう者劇団・部員の継続的派遣 ろう者キャンプ
各教区及び青少年伝道部との協力

ろう者の友の救いのために、
祈りましょう！

おしゃらせ

★第7回世界アッセンブリーろう者大会

日時：2026年10月1日（木）～8日（木）

場所：コロンビア カルタヘナ Hotel Cota Del Sol

参加費：2025年12月21日までの申し込み・入金は10万円

それ以降の申し込みは13万円

（7泊8日分の宿泊・食事・観光経費）

・パスポートは残存期間が入国時点で三ヶ月以上あること

保険は各自で加入してください

・申し込み：peacegrace.jp@yahoo.co.jp

（山形神召キリスト教会 布施和恵）

★2025年ろう者聖会動画視聴

視聴希望者は登録費3000円で視聴できます。

希望者はろう者伝道部まで。

★2026年全国ろう者聖会

日時：2026年8月11日（火・祝）～13日（木）

場所：東京・教団本部（駒込）

★2026年信徒聖書学校

日時：2026年2月10日（火）～11日（水・祝）

場所：堺市 ビッグ・アイ